

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	観光の人文学・社会科学的深化による地域力の創出
研究テーマ名	地域に現存する学術資料を活用した地域学術観光創出に関する研究
研究代表者	堀井 洋
所属機関・部局・職	合同会社AMANE・調査研究ユニット・代表社員
研究成果の総合評点：	A
研究成果に係る所見	<p>観光は地域活性化にとって重要な要素であり、そのための学術資料の新たな活用に関するプロジェクトとしては着実に成果が上がっているように思われる。とりわけ地域学術資源リポジトリを構築し、その運用を行う組織づくりまで行った点は評価できる。</p> <p>しかし、こうしたシステムの普及や理解の促進についての活動（論文、シンポジウム等）については、論文数やシンポジウム参加者数の点で不満が残る。研究成果の広報のありかたをさらに工夫して、より広い観点から社会に訴える広報手段を考えていただくことを期待する。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった